

4月20日朝会講話 ～言葉遣いについて考えよう～

今日から1年生も朝会に参加します。時間までに上手に整列ができました。

1年の春夏秋冬の季節、それぞれをさらに6つに分けて季節をあらわすものに二十四節気というものがあります。古くから農業によって生活を支えてきた私たちの社会では、季節の変化と生活のかかわりを考える上で重要な手掛かりとなるものです。

ちょうど今は、穀雨と呼ばれ地上にあるたくさんの穀物に雨が振り、水分と栄養がため込まれ、田植えの準備が始まる頃、また植物が緑一色に輝きはじめるころとなります。季節は、春から夏へと移り変わっていきます。4年生の高尾山の遠足では、山の緑を楽しんでください。

さて、今日は言葉遣いについて、お話をします。

卒業した去年の6年生が国語の学習の中で、「大切にしたい名言・言葉」という学習をしました。その名言の中で次のようなものが紹介されていました。

「言葉は、刃物なんだ。使い方を間違えると厄介な凶器になる。」というものです。これは、アニメに出てくるキャラクターの台詞の一つだそうです。

この台詞を知って、言葉のもつ怖さを言い当てているなと感心しました。

先週、教室を回ってみると、「うるさいな」「なんだよ」「はい」と、多くの人が学び合う教室にふさわしいか考えさせられる言葉が耳に留まりました。人を傷つける凶器にならないかと思いました。自分自身の言葉遣いを振り返って、その言葉選びや使い方は、どうでしょうか。

今年は、いじめのない学校はどうしたらできるか。そんなことを考えてみたいとも思っています。